

果樹カメムシ類の発生に注意しましょう（県北部・西部）

8月中旬以降、県内各地のナシ産地でカメムシの飛来が増加し、一部地域では集中飛来も報告されています。県内8地域の防除員の報告のうち、中津・九重地域のフェロモントラップの誘殺数が多い状況となっており、県北部・西部地域では注意が必要です。

また、8月27日発表の1ヶ月予報によれば、9月の気温は高温傾向が予想されており、カメムシの活動が活発な状態が続く恐れがあります。

1 発生の状況

フェロモントラップの誘殺は、8月4半旬に中津市で誘殺数が急増し、調査を行った過去7年間は2番目に多く、平年との比較でも4.3倍（本年113頭、平年26頭）となっています。また九重町では7月以降の誘殺数が調査を行った過去3年に比べ多く推移しています（図1）。

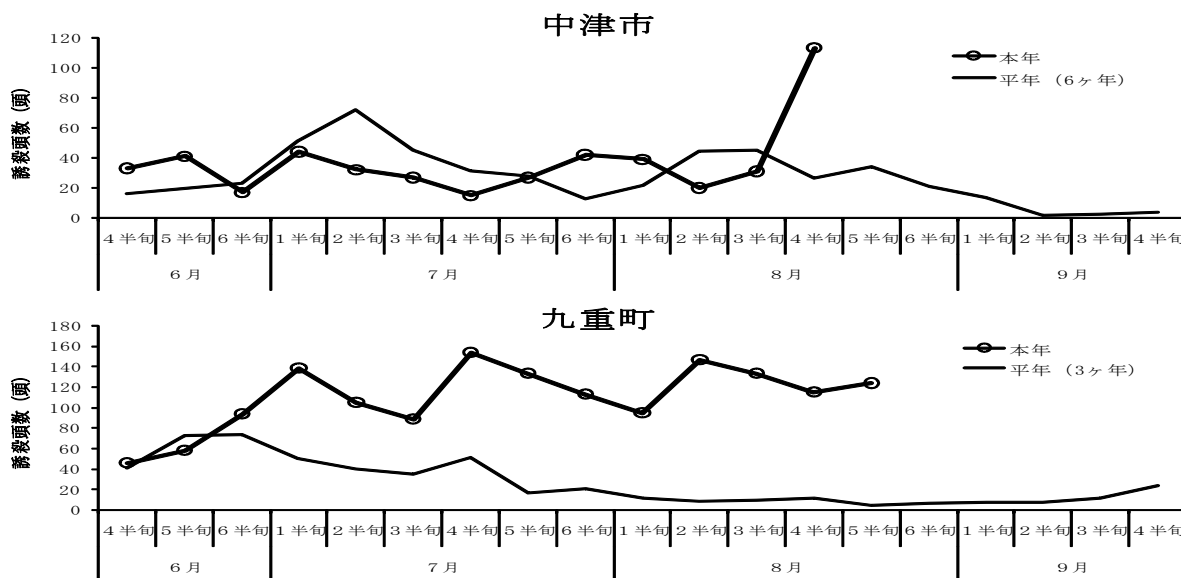


図1 カメムシの誘殺状況（半旬別誘殺数）

2 防除の考え方

- (1) 園地への飛来時期や飛来量は地域や園地によって異なるので、園地の見回りを徹底して下さい。また、飛来が多く見られたら一斉防除を実施して下さい。
- (2) 薬剤散布は、カメムシ類が園地に飛来する夕暮れ時から日没直後に行い、カメムシに直接薬剤がかかるようにして下さい。
- (3) カメムシ類の寿命は長く、新世代成虫は長期間、多くの植物を移動しながら加害するので、今後の発生予察情報に注意して下さい。
- (4) 防除薬剤は、作物によって使用できる薬剤が異なるので、農薬使用基準（使用時期、使用回数等）を遵守し使用して下さい。
- (5) 薬剤は、農業研究部病害虫チームホームページ (<http://www.jpnpn.ne.jp/oita/>) 内にある「大分県主要農作物病害虫及び雑草防除指導指針」を参照して下さい。なお、薬剤によっては、指針の更新日以降に登録内容が変更されている場合があるため、薬剤のラベルに従って使用して下さい。

担当：農業研究部病害虫チーム
TEL：(0978) - 37 - 1893

